

平成28年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (3月11日実施)	総合評価 (4月10日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	①柔軟な学びのシステムを活かした教育課程の編成を推進する。  ②生徒が主体的に学び、学力の定着が図れるような授業を実現するための研究を推進する。	① Semester制導入に向けた諸課題の整備と調整を行う。  ② 生徒の主体的な学習を促す授業の研究を行う。	① 学校選択科目を見直し、教育課程の精選を図る。  ② 「清南型アクティブラーニング」を確立するための授業研究を行い、その結果を共有する。	① 本校の特徴である、生徒の自己実現や進路選択ができる教育課程になっているか。  ② 各教科で、「清南型アクティブラーニング」とはどのような授業なのか研究できたか。	① 共通科目を中心として、教育課程を見直した。  ② 職員会議を通じて定期的に全職員で討議を重ねた結果、アクティブラーニングとはどのような授業なのかを再確認することができた。	① 「一人ひとりの興味関心に応じた科目を用意する」ことを確保する。  ② 清南型アクティブラーニング構築のための教材研究のあり方の討議をはじめた。	① 単位制フレキシブルスクールの仕組みが中学生や保護者にはわかりづらい、資料や説明を工夫してほしい。  ② アクティブラーニングは、生徒が主体的に活動する形態の授業で、中高で取り組まれるようになった。清南型アクティブラーニングには興味がある。教員対象の授業アンケートを実施するとよい。	① 説明会では「フレキシブルスクールとは」で始めている。個別の説明では伝わると思うが、全体会やホームページでは難しい。  ② アクティブラーニングは生徒主体の授業があるのが現状だ。教員アンケートを実施し、フィードバックすることにより、授業改善につなげることができた。	① 単位制フレキシブルスクールの仕組みについては、長所だけでなく陥りやすいリスクについても説明し、理解してもらう。  ② アクティブラーニングについては、その意義を伝え、実際に経験させることにより、生徒の苦手意識を緩和していく。教員間でも共通認識を図り、授業研究を継続していく。
2 生徒指導・支援	① 多様な課題を抱える生徒に対応するため指導、支援体制の充実を図る。  ② 学校行事を通して生徒の自己肯定感の向上を図る。	① SC、SSWの積極的活用と連携を図る。  ・ マナーアップを推進する。  ② 文化祭、スポーツ大会等を生徒主体に実施する。	① チューター制度や、相談ポストの存在を周知し、担任も含めた一次的な支援の中から必要なものをSC、SSWにつなげていく。  ・ ポスター等を使い、啓発活動を継続していく。状況に応じた柔軟な巡回指導を行う。  ② 委員会生徒と教員の相談協議の機会を多く設ける。	① 利用状況と教員へのフィードバックおよび、必要に応じてケース会が設定できたか。 ・ 生徒指導案件の内容状況。  ② 自己の役割について振り返りを行い高評価が得られたか。	① 主に担任と年次が中心となり、相談担当職員やSC、SSWとの連携の下に、教育相談やケース会を行った。  ・ 生徒指導案件は昨年一昨年に比べ減少している。  ② 事後アンケートでは8割近くの生徒が目的をほぼ達成できたと回答した。	① 教育相談体制の確立を図り、チームとして課題解決に当たっていく。  ・ ルールとマナーを遵守する意識を向上させる。啓発活動や巡回指導について工夫する。  ② 中心となって積極的に活動する生徒を増やしていく工夫が必要である。	① 多様な学習支援について、充実した内容となっているので、このような研究と実践を推進しているというは心強い。今後もさらに充実したものにしてほしい。  ・ チューター制度は、相談する内容によって先生を選べるのがよい。  ② 一人でも多くの生徒に参加させることで、達成感や充実感をもたせてやってほしい。	① SC、SSWとの連携や専門医の協力により、課題のある生徒について情報を共有し、個別支援や外部機関へつなぐことができた。  ・ 良い評価だけでなく、マナーが悪く地域に迷惑をかけているのも事実である。  ② 学校行事に主体的に参加した生徒については、達成感が得られたが、特定の生徒に集中していた。	① 教育相談については、職員間での情報共有を図り、外部機関との連携を推進するなどして今後も支援体制を一層充実させていく。  ・ 職員の巡回等も工夫して、地域の声を生徒が期待として肯定的にとらえられるよう指導する。  ② 学校行事について、企画や運営を生徒が主体的に進める経験をさせる機会を設ける。

	視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (3月11日実施)	総合評価(4月10日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
3	進路指導・支援	①生徒一人ひとりが将来性、計画性を踏まえて自己実現ができる進路指導の充実を図る。	①キャリアサポート体制を拡充する。  ・「いきる力」をはぐくむ。	①個別の進路計画および、進路相談やチューターの活用を図る。  ・外部の教育力および総合的な学習の時間を活用する。	①個別の進路計画の作成状況。進路相談件数やチューターの活用状況。  ・進路達成状況。	①進路カルテをベースに担任や、部活動や授業など、複数の教員で指導にあたった。  ・直接ハローワークに行き登録し、情報を得るなど、外部機関の利用が見られた。	①大学や専門学校の説明会に積極的に参加し、必要な情報をできるだけ自分で獲得できるようにする。  ・生徒一人ひとりの第1希望を大切にす指導をチームとして実践する。	①卒業後の進路については関心があり、入試の方法について情報がほしい。  ・生徒の進路は多種多様であり、未定やアルバイトで卒業した生徒のその後の進路先を知りたい。	①生徒・保護者向けの進路説明会を実施し、情報提供するとともに、個別相談も随時行い、進路選択のミスマッチを回避できた。  ・希望の進路に向けて、計画的・段階的に指導を行うことで達成できた生徒もいる一方で、進路未定の生徒への対応が課題である。	①外部の協力も得て、生徒・保護者に最新の情報を提供し、担任だけでなく、チューターやキャリア支援Gメンバー等で進路決定を支援する。  ・進路選択に向けて、インターンシップ等を活用し、進路未定の生徒をなくしていく。
4	地域等との協働	①地域に理解され、信頼される活動を推進する。	①地域の防災活動や地域の学校(小学校や幼稚園など)と積極的に連携に取り組む。 ・日々の教育活動のより丁寧な情報発信を行う。	①学校行事としてだけでなく、学年単位等、機会をとらえて定期的に実施する。 ・ねらいや意図に加え、生徒の様子を丁寧に説明する。 ・生徒の多様なニーズ対応に向け地域連携を広める。	①活動件数を増やし、内容充実できたか。 ・学校説明会等において、本校の情報を得る媒体として、本校ホームページを挙げる人の割合が前年度よりアップしたか。 ・生徒の地域との連携はできたか。	①生徒一人ひとりの判断で避難ができることに主眼をおいたため、地域との連携は不十分であった。 ・保護者が本校の情報を得る媒体として、本校ホームページを挙げる人の割合は、概ね50%を超えていた。	①D I G研修を利用して、学校周辺環境の理解を深め、地域等との協働を実現させる。  ・今後もホームページの充実を図り、本校の魅力と特色の発信に努める。	①小学校の行事に清南生が参加してくれてよかった。今後は小中高の連携に部活動等を通じて連携できたらよい。 ・離れた地域の中学生や保護者には、厚木清南の情報が入ってこないもので、ホームページを含めた詳しい情報発信が望まれる。	①小学校のイベントやいじめ防止の寸劇等を行い、好評であった。今後も部活動の生徒を小中学校のクラブ活動に参加させることなど検討したい。 ・中学生や保護者からもわかりやすいホームページにするよう検討を加えていく。	①地域と連携して防災活動を実施することは喫緊の課題だが、それだけでなく、生徒が関わっていける機会をできるだけ設定する。 ・本校について、より深く理解してもらえるホームページとなるよう工夫する。
5	学校管理 学校運営	①安全・安心な学校づくりのために三課程が連携して教育活動を展開する。  ②フレキシブルスクールとして三課程の情報共有を推進する。	①三課程防災訓練を定着させる。また学校安全・安心活動計画を作成する。  ②ポータルサイト活用を進める。	①実施目標を定め、三課程で実施要項を作成する。  ②学校説明会等の実施状況をまとめ、ポータルサイトでの周知を図る。	①実施状況。  ②三課程の活用状況が改善したか。	①教室内の環境整備と、防災物品の適切な運用について今後への方針を三課程で確認できた。  ②学校説明会の参加者アンケート等で各課程の実施状況を共有することができた。	①三課程での連携をさらに密にし、安全安心活動計画の完成をめざす。  ②より迅速な情報共有を今後もめざす。	①三課程の防災訓練が、具体的にどのように行われているのか、課題はないか教えてほしい。  ②学校案内のパンフレットは、具体的な長所・短所を盛り込んで、三課程をまとめたものだとわかりやすい。	①防災訓練では、フレキシブルスクール特有の課題があり、今年度は生徒がどう行動すべきかを考えるよう取り組んだ。今後は地域との連携を課題とした。 ②視認性や見やすさを重視して学校案内を作成しているが、改善に向けて検討したい。	①三課程で連携した防災訓練については、様々な状況を想定しながら継続して実施する。  ②中学生や保護者にとってわかりやすい学校案内の作成と学校説明会を計画・立案する。